

上) 前島密の肖像写真(67歳ころ)／幕臣時代(32歳ころ)／逓信省庁舎前に建つ前島密像(大正5(1916)年)
 下) 渡欧時代(35歳ころ)／前島密と奈可(仲子)夫人／生誕記念落成式典(大正11(1922)年)

前島密 生誕180年記念フォトグラフ

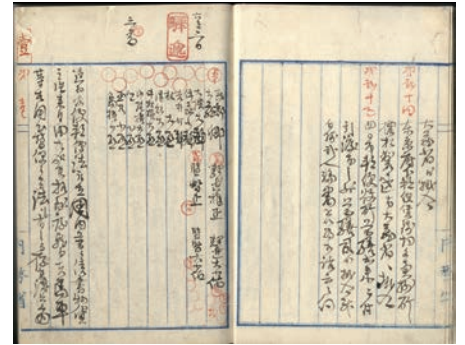
日本の郵便の父といわれる前島密。郵便関連のほかに新時代に目を向けたさまざまな事業を提案し実現化に取り組んできた人であり、生誕の地新潟県上越市に建つ石碑には、「日本文明の一大恩人」と記されている。今年度は天保6(1835)年に生を受けた前島密の生誕180年を記念した展覧会やイベントが各所で開催された。

トピックス123ページ・展覧会感想125ページ

創業期資料

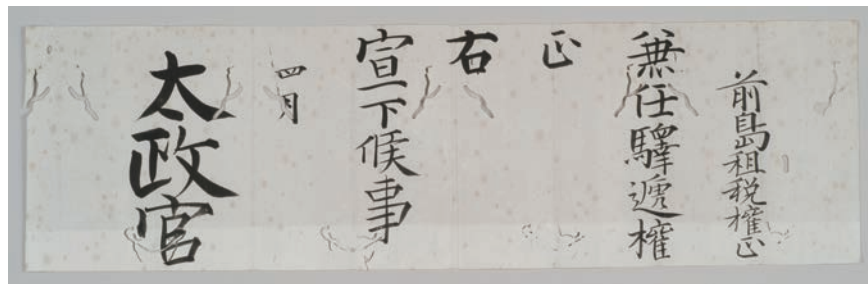
正院本省郵便決議簿

明治3（1870）年6月2日、前島密が建議した郵便創業に関する内容と諸規則等が記されている。簿冊（写）は明治3年、4年の2冊。



前島密駅逓権正の辞令

明治3（1870）年、前島密は租税権正と兼任で駅逓権正を命じられ、郵便をはじめとする通信事業と交通に関わる長官となった。



郵便創業を知らせる太政官布告 日本初のポスト書状集箱

明治4（1871）年、太政官布告により日本国内に郵便事業の開始が伝えられた。日本初のポスト「書状集箱」の下には、布告に加え「各地時間賃銭表」「書状を出す人の心得」が併記されたものが掲出された。

